

広報 なすからすやま

Nasukarasuyama City Public Relations

2022
June
No.201

6

みんなで考えよう!つくろう!
未来に続く私たちのまち

特集 まちづくりに関する市民意向調査の結果…	2
市議会議員選挙の投開票結果……………	6
市民4人に栄えある叙勲……………	9
まちかどリポート・「からせん」の思い出……………	13
お知らせ……………	14
みんなの自慢の1枚・山あげ祭準備順調に……………	16

持続可能な“まちづくり”を目指して

～まちづくりに関する市民意向調査の結果概要～



◇調査の方法と回収結果

調査時期	令和3年11月
調査対象	18歳以上の市民
配布数	2,000件
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による配布・回収 ※回答はインターネットも可
有効回収数	764件
有効回収率	38.2%

本格的な人口減少・少子高齢社会の到来を迎える中、市ではすべての市民が将来にわたり住み続けたいと思う「持続可能な『まちづくり』」を目指し、各種の施策や事業を展開してきました。

一方、異常気象に伴う大規模災害の発生や新型コロナウイルス感染症の感染拡大など新たな課題への迅速な対応が求められています。

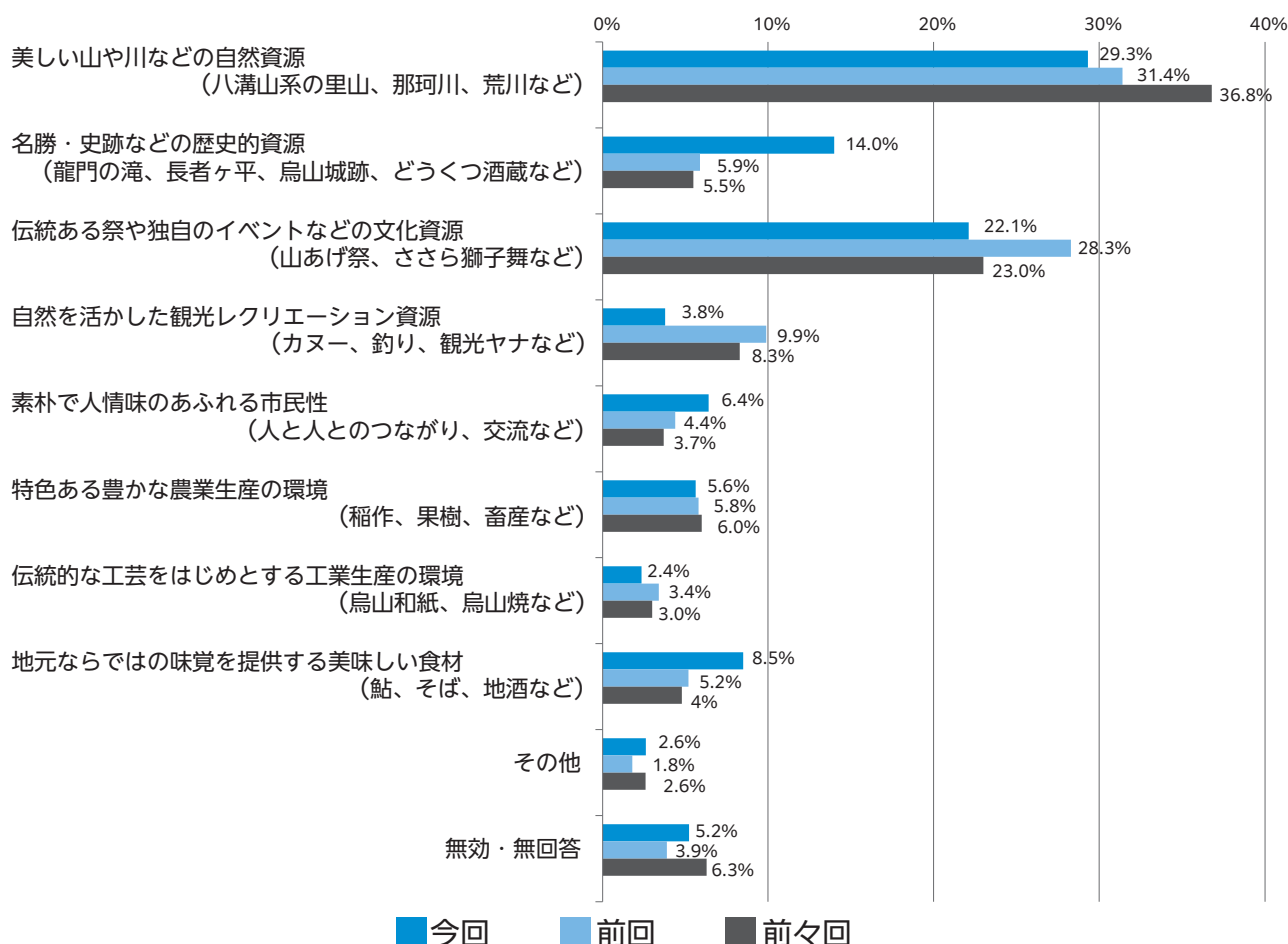
様々な行政課題が山積する中、本市におけるまちづくりの指針となる総合計画の次期計画（令和5年度～9年度）をはじめ、総合計画に基づく各個別計画の策定を進める際の基礎資料とするため、まちづくりに関する調査を行いました。

その結果がまとまりましたので、今月号では、調査の結果概要をお知らせします。

Q那須烏山市の誇れるものや特色

図1の「那須烏山市の誇れるものや特色」についての調査では、前回調査（平成27年11月）同様「美しい山や川などの自然資源」が最も高い回答でしたが、前回調査より割合が高くなったのは、「名勝・史跡などの歴史的資源」と「地元ならではの味覚を提供する美味しい食材」などです。

図1

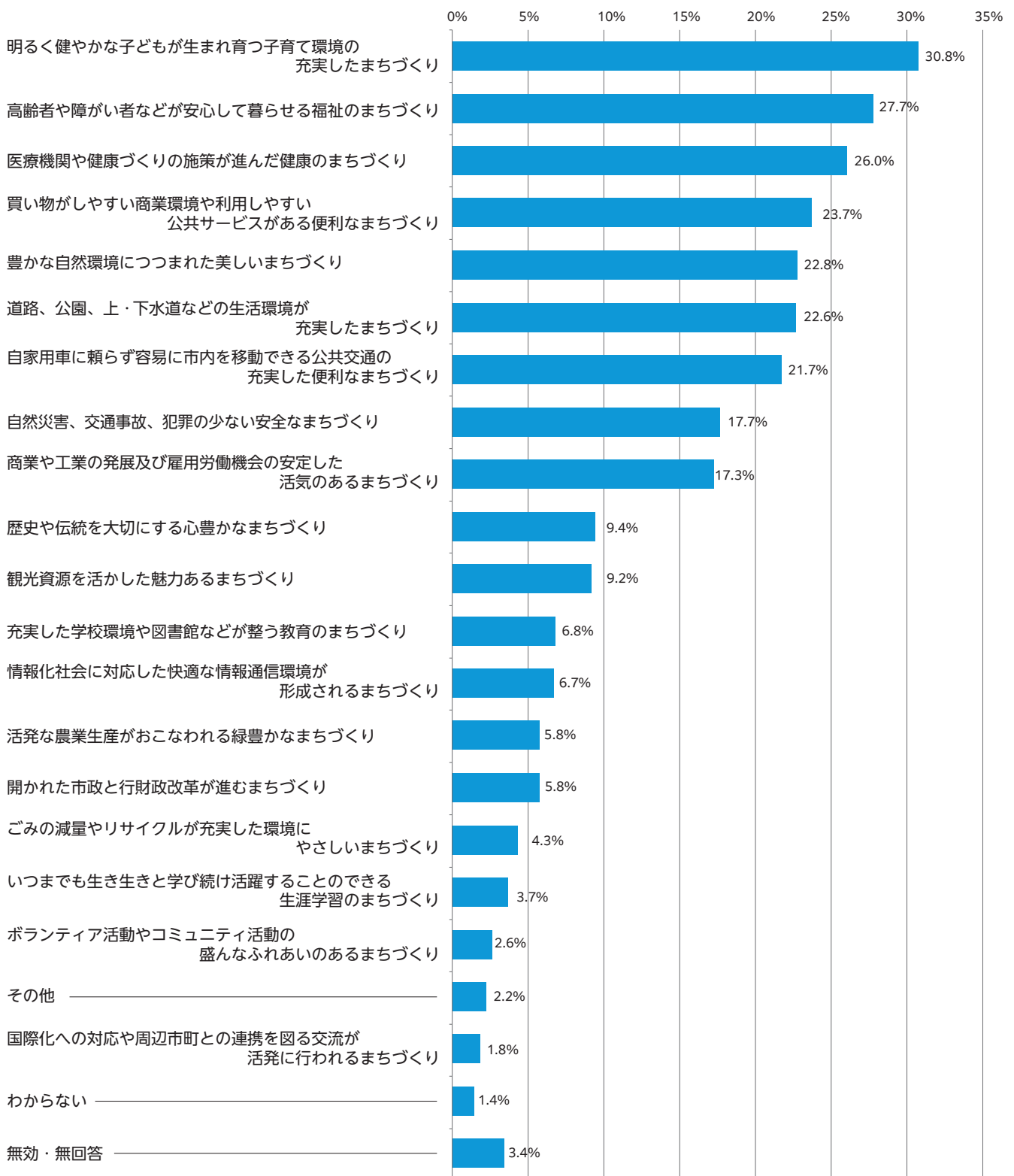


Qこれから重視するまちづくり

図2の「これから重視するまちづくりについて」についての調査では、「明るく健やかな子どもが生まれ育つ子育て環境の充実したまちづくり」が30%超と最も多く、次いで「高齢者や障がい者などが安心して暮らせる福祉のまちづくり」、「医療機関や健康づくりの施策が進んだ健康のまちづくり」の回答が26%超という結果になっています。

なお、若い世代では、買い物がしやすい商業環境や公共サービスの充実に対する期待が高いという結果となりました。

図2



まちづくりの施策や事業への評価と重要度について

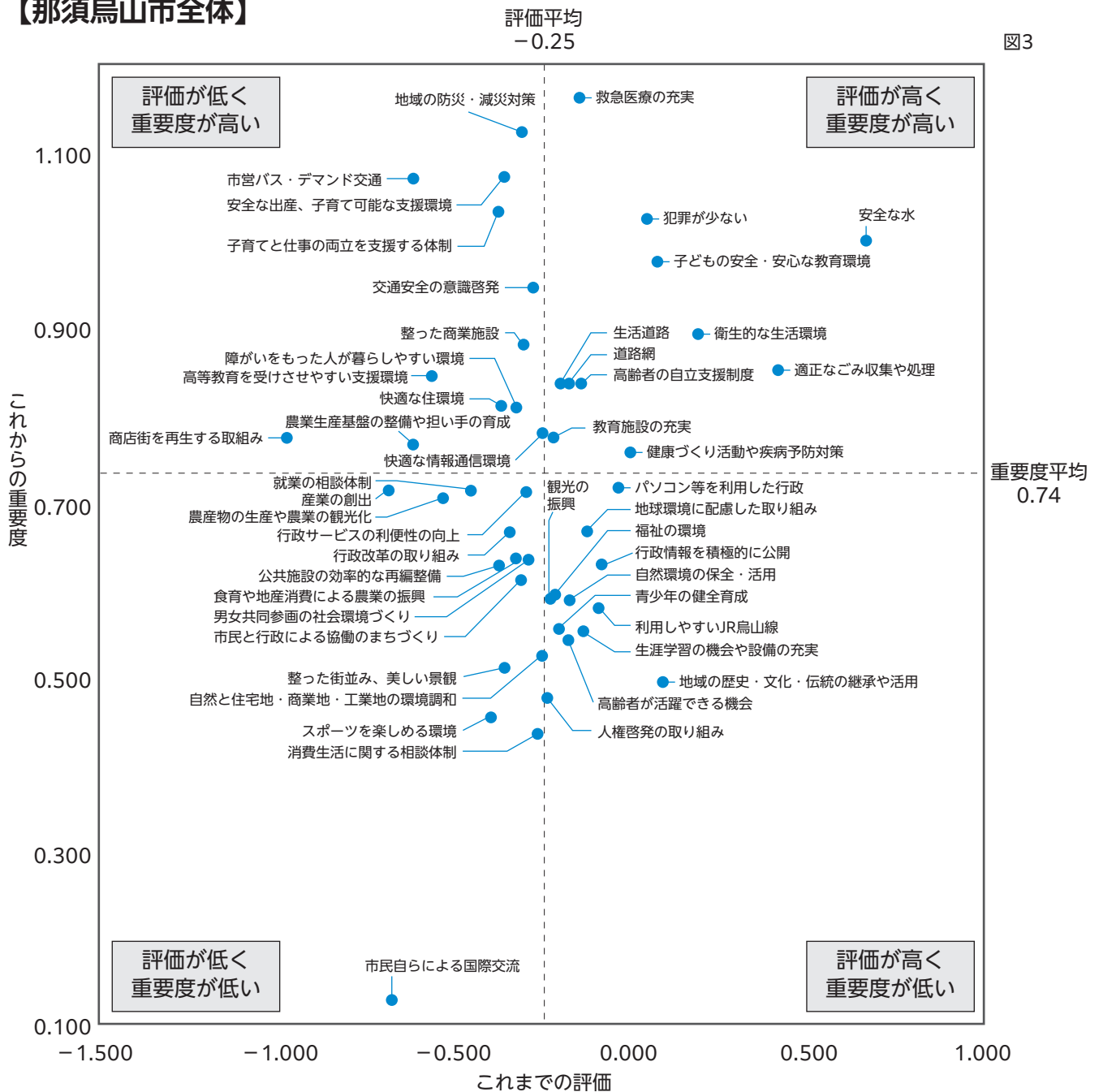
図3は、まちづくりの施策や事業への取り組みに関する「これまでの評価」と「これからの重要度」の回答結果を得点化し、両者の相関関係をグラフにしたものです。

評価・重要度ともに高く、継続的な取り組みが期待されている施策として、「安全な水」「子どもの安全安心な教育環境」「犯罪が少ない」「救急医療の充実」などが挙げられました。

評価が低く重要度が高い「市営バス・デマンド交通」「子育てと仕事の両立を支援する体制」「安全な出産、子育て可能な支援環境」などは、今後のまちづくりにおいて重要な施策として期待されています。

【那須烏山市全体】

図3



計画の策定に向けて

市では、この結果をより詳細に分析し、今後のまちづくりに反映していくこととしています。詳細な評価結果は、市ホームページをご覧ください。

■総合政策課秘書政策グループ ☎0287-83-1112

16人の新市議決定！

那須烏山市議会議員選挙

投票結果

投票率は56.47%



沼田邦彦 (50)
旭1丁目・無所属



矢板清枝 (62)
下川井・公明党



青木敏久 (58)
谷浅見・無所属

国民健康保険税の税率などが変わります

国民健康保険は、病気やけがをしたときに安心して医療が受けられるように、加入者がお互いに支え合う相互扶助制度で、被保険者の皆さんに納めていただく保険税が重要な財源となっています。

今回の国保税率などの改正は、将来にわたって安心して国民健康保険を利用できるようにするためのものです。加入者の皆さんのご理解ご協力をお願いします。

税率の改正

区 分	医療分 (全被保険者)		後期高齢者支援金分 (全被保険者)		介護納付金分 (40歳以上65歳未満)	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
所得割	6.8%	6.8%	2.4%	2.6%	1.9%	2.0%
均等割	23,500円	23,500円	7,500円	8,300円	7,800円	8,300円
平等割	21,000円	21,000円	6,000円	6,600円	7,000円	7,000円
賦課限度額	63万円	65万円	19万円	20万円	17万円	17万円

※青字…改正部分

※賦課限度額…1世帯における国保税の上限額(議会の承認が得られない場合はR3と同額)

未就学児の均等割額の軽減

子育て世帯の負担軽減を図るため、未就学児に係る被保険者均等割額を5割に軽減します。また、未就学児が低所得者世帯に属する場合は、低所得者世帯の軽減後に5割を軽減します。例えば、7割軽減世帯の未就学児の場合、軽減後の3割が半分になるので合計8.5割の軽減となります。

区 分	未就学児の 軽減割合	金 額		
		医療分	後期高齢者 支援金分	合計
一般世帯	5割	11,750円	4,150円	15,900円
低所得者世帯(2割軽減)	6割	9,400円	3,320円	12,720円
低所得者世帯(5割軽減)	7.5割	5,875円	2,075円	7,950円
低所得者世帯(7割軽減)	8.5割	3,525円	1,245円	4,770円

特定健診は毎年受けましょう！

医療費の増加は、保険税の上昇につながります。特定健診やがん検診を毎年受け、病気の予防・早期発見・早期治療を心がける人が増えれば、将来の高額な医療費の抑制につながり、保険税率の上昇を抑えることができます。

令和4年度の健診は、すでに始まっています。受診を希望する人は、早めの予約をお願いします。

■問合 市民課国保医療グループ ☎0287-83-1116

投票結果

区分	当日有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)
男	10,805	6,020	4,785	55.71
女	10,842	6,203	4,639	57.21
計	21,647	12,223	9,424	56.47

開票結果

(候補者名は届出のあった氏名を記載)

当選人	候補者名	得票数(票)	当選人	候補者名	得票数(票)
当	ぬまた 邦彦	1,422	当	小堀 道和	608
当	矢板 きよえ	1,362	当	ほりえ 清一	546
当	青木 としひさ	883	当	荒井 こうじ	520
当	たかぎ 洋一	879	当	しぶい 由放	487
当	田島 しんじ	848	当	滝口 たかし	467
当	平塚 ひでのり	800	当	興野 一美	453
当	そうま 正典	748	当	福田 ながひろ	391
当	中山 五男	710		はまの 正義	326
当	高田 えつお	635			

任期満了に伴う那須烏山市議会議員選挙が、4月24日(日)に執行されました。今回から定数が16人となった本市の市議会議員。17人うち現職15人、新人2人が立候補し、開票の結果、現職15人、新人1人が当選しました。

投票率は56・47%で、前回(63・97%)を7・5ポイント下回る結果となりました。また、投票者のうち、期日前投票所の利用者の割合は54・31%でした。投票結果および開票結果は次のとおりです。



興野一美 (65)
興野・無所属



渋井由放 (66)
南1丁目・無所属



小堀道和 (73)
小河原・無所属



相馬正典 (66)
金井1丁目・無所属



高木洋一 (50)
志島・無所属



福田長弘 (55)
中央2丁目・無所属



滝口貴史 (48)
志島・無所属



堀江清一 (63)
三箇・無所属



中山五男 (85)
東原・無所属



田島信二 (77)
谷浅見・無所属

新議員の顔ぶれ

※()内の年齢は6月10日時点のものです



荒井浩二 (39)
野上・無所属



高田悦男 (73)
田野倉・無所属



平塚英教 (67)
小木須・日本共産党

だれもが働きやすい職場を目指して 市ワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度

市では、「ワーク・ライフ・バランス」を推進し、仕事と生活の調和を図り、男女が共に働きやすい職場環境の実現に積極的に取り組み成果を上げている市内の企業を、「那須烏山市ワーク・ライフ・バランス推進企業」として認定します。

「ワーク・ライフ・バランス」って？

「ワーク・ライフ・バランス」とは、仕事と生活の調和を図ることで、その両方を充実させる働き方・生き方のことです。働くすべての人がやりがい・充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭・地域・自己啓発といった個人の時間を持ちながら健康で豊かな生活を送ることを目指しています。

認定後のメリットは？

認定後は、広報なすからすやま市ホームページなどで企業名および取り組み内容などを広く周知することで、企業のPRやイメージアップにつなげていきます。

認定条件

市内に本社や事業所などを有する法人で、下記の4分野30項目のうち15項目に該当し、かつ、各分野において1項目以上の項目に該当していること。

項目の例

■働きやすい環境づくり

ノー残業デーの推進、フレックスやテレワーク等の柔軟な働き方の支援、ハラスメント対策

■育児・介護等と仕事の両立支援

次世代育成対策推進法に基づく「一般事業主行動計画」を策定している、男性従業員に対する育児休業の取得促進、時短勤務や子の看護休暇

■女性活躍支援

女性管理職の登用目標値を設定して積極的に登用している、女性が働きやすい職場環境の整備（女性用更衣室・トイレ・アメニティなど）を行っている

■地域活動支援

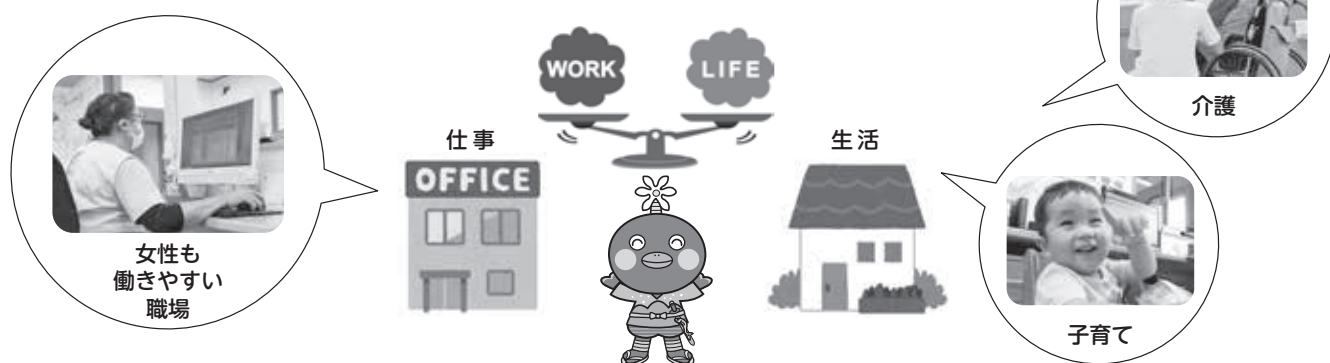
施設見学や体験・出前講座など子どもたちや地域の人たちへの学習の機会の提供、学生等を対象とした就業体験の機会を提供するインターンシップの実施など

募集期間

7月29日(金)まで

※詳細は、市ホームページをご覧ください。

■問合せ 商工観光課商工振興グループ ☎0287-83-1115



春の叙勲で市内4人が受章

■旭日双光章 佐藤邦行さん(金井2丁目)

金井2丁目の佐藤邦行さんが、生活衛生に関わる功績により、旭日双光章を受章しました。

自分で商売がしたいと23歳のときに市内に飲食店を開業した佐藤



さん。店の味を保つために努力を重ねながら、平成27年からは6年にわたり県中華料理生活衛生同業組合理事長を務めました。また、市観光協会長を務めたほか、消防団活動にも力を入れるなど、地域にも大きく貢献してきました。

佐藤さんは、「家族の協力により店の経営と役職を両立できた。体力が続く限り、息子の助けになるような店に立ち続けたい」と笑顔で語りました。

■旭日双光章 菊池一郎さん(小倉)

小倉の菊池一郎さんが、長きにわたる畜産業振興への功績により、旭日双光章を受章しました。

農業高校卒業後に酪農を始めた菊池さん。海外研修生の育成にも



力を入れるなど、長年酪農の発展に尽力してきました。平成20年から26年まで酪農とちぎ農業協同組合長を務め、現在も同組合理事長のほか、関東生乳販売農業協同組合連合会の代表理事会長を務めています。

菊池さんは、「酪農仲間や地域の皆さんに恵まれたことで受章につながった。恩返しとして自分の知識や経験を伝えていければ」と話していました。

■瑞宝双光章 高田正男さん(大桶)

大桶の高田正男さんが、警察功労で瑞宝双光章を受章しました。

高田さんは、宇都宮中央署滝谷町交番所長で退職するまで42年間にわたり活躍。高速道路交通警察



隊のほか、地域での事件・事故全般を担当しました。県警本部の秘書課時代には、「後衛車」に乗って昭和天皇陛下の警衛にあたったことが印象に残っているそうで、だれもが経験できる業務ではないため緊張したが、任務終了後には達成感があったと振り返ります。

高田さんは、「大変なこともあったが、仕事を続けられてよかった。受章できたことをうれしく思う」と喜びを語りました。

■瑞宝単光章 渡辺廣一さん(曲畑)

曲畑の渡辺廣一さんが、消防功労で瑞宝単光章を受章しました。

人のためになる仕事がしたいと消防署員を志した渡辺さんは、昭和47年に南那須地区広域行政事務組



合消防本部に入庁。南那須分署長として退職するまで35年間にわたり活躍し、火災や自然災害、救急など広く現場を経験してきました。火災現場で延焼を防げたときや、救急対応した患者さんが元気になったときがやりがいを感じる瞬間だったそうです。

渡辺さんは、「この章をいただけたらと思うことがなかったので驚いた。長年支えてくれた家族や上司・同僚のおかげ」と感謝を述べました。



◀看板をデザインした子どもたち

まちのホットな情報をお知らせ まちづくり掲示板を設置しました

市では、キャッチフレーズ「五感で楽しむ那須烏山」をはじめ、まちづくりに関するイベント・活動を来庁者に広く周知するため、まちづくり課の廊下壁面に「まちづくり掲示板」を設置しました。掲示板の看板デザインは、なすから子結び団（平野達朗代表）が担当。3月27日（日）のワークショップに参加した5組13人の親子が市の観光名所や特産物、アキムなどを題材に看板に絵を描きました。

市民団体などの情報を掲載していく予定ですので、来庁した際には、ぜひ、ご覧ください。



副市長に熊倉氏

昨年1月から空席となっていた那須烏山市副市長に、6月1日付で熊倉精介氏（宇都宮市）を選任することとなりました。

熊倉氏は昭和59年4月に栃木県職員となり、令和4年3月まで38年間にわたり行政事務に従事。総合政策部次長兼市町村課長のほか、人事委員会事務局長、会計局長などを務めていました。

これまで培った経験と知識を活かし、市民の皆さんのため誠心誠意努力して参ります。

「山あげ」を夏の季語に 全国に向け実行委員会が宣言式

那須烏山市山あげ俳句全国大会実行委員会（鈴木美江子委員長）では、5月1日（日）に山あげ会館前で「山あげを夏の季語に」宣言式を行いました。

これは、「山あげ」を夏の季語として全国に発信することを目的に行われたもので、当日は、鈴木委員長が「全国の俳人に認知いただき、歳時記に掲載されるまで活動が続ける」と宣言書を読み上げたほか、「山あげ」を使った俳句5句が披露されました。また、元田町お囃子会によるお囃子に加え、烏山山あげ保存会芸能部会による「三番そう」が披露されました。

今後は、「山あげ」を夏の季語とした句を全国から募るほか、山あげ祭で投函箱を設置するなど積極的に活動していく予定。鈴木委員長は、「協力の輪が広がり、出演者の皆さんに花を添えていただいた。今回の式典を通過点としてとらえ、根気強く活動に励んでいきたい」と意気込みを語りました。



上：宣言書を読み上げる鈴木委員長

下：披露された三番そう

関さん、八板さん、横山さんが満100歳

関カヨさん(小埜)が4月23日(土)に、八板タネさん(上川井)が5月4日(水・祝)に、横山悦生さん(神長)が5月10日(火)に、満100歳の誕生日を迎え、市から記念品などが贈られました。

関さんは、家族と暮らしていて、身の回りのことは自分で行えるほど元気いっぱい！庭の草とりにも精を出していて、「これから季節はもっと草とりを頑張らなくちゃ」と笑顔で話してくれました。ビールが好きで晩酌している関さんですが、晩酌を始めたのは99歳になってから。好き嫌いせず何でも食べて、よく体を動かしていることが長生きの秘訣のようです。



関さん

八板さんは、現在自宅で暮らしていて、週に2回通うデイサービスを楽しみにしています。手先が器用で以前はザルを編んでいたほか、庭の草むしりもまめに行っていたそう。好きな食べ物は、みかんなどの果物や野菜で、いつも自宅で食べている野菜たっぷりの味噌汁が元気の源のようです。「100歳を迎えられてうれしい」と話す八板さん。カメラを向けると、元気にピースをしてくれました。



八板さん

横山さんは、現在市外の介護施設で暮らしていて、家族が届けてくれるぬり絵や96歳から始めたという習字を楽しんでいます。好きな食べ物は刺身・餃子・ラーメンで、以前はウナギもよく食べていたそうです。几帳面な性格で、今でも身の回りのことは自分でできるという横山さん。仕事の合間に畑仕事をするなど体をよく動かしたり、大好きな温泉に行ったりしていたことが、長寿につながったようです。



横山さん

令和3年度実績報告 まちづくりチャレンジ プロジェクト

市では、新たな「公共の担い手」育成による協働のまちづくりの実現を目指して「まちづくりチャレンジプロジェクト」を実施しています。

そこで、令和3年度に採択となった団体の事業を紹介します。



那須烏山商工会青年部（笠井慎介部長） 那須烏山市の広報活動「なすからプロモーション」

【取組内容】

本市の認知度向上および定住の促進を図ることを目的に、市民参加型のプロモーションを展開するため、インスタグラムを活用したフォトコンテストを実施しました。市内の観光・自然・飲食等、魅力的な写真を発信することにより、本市在住者も知らないような情報の発信につながりました。

また、Uターン者へのインタビューや市内の情報を盛り込んだ「なすからプロモーション動画」を製作しました。この動画は、市公式YouTubeチャンネルで公開していますので、ぜひ、ご覧ください。



◀ 買い物客に安全運転を呼びかける関係者ら

春の交通安全県民総ぐるみ運動 交通事故防止を呼びかけ

4月6日(水)から15日(金)にかけて「春の交通安全県民総ぐるみ運動」が行われました。

初日の6日(水)には、山中入口交差点で、市や那須烏山警察署、交通安全協会、安全運転管理者協議会などの関係者約40人が特別街頭指導を行い、安全運転を呼びかけるボックスティッシュ約100個を信号待ちのドライバーに手渡しました。

13日(水)には、「止まってくれない栃木県」からの脱却強化の日として、市内スーパーでチラシなどを配布し、買い物客へ横断歩道の一時停止を呼びかけました。



◀ スタートする参加者ら

それぞれのペースで歩み楽しむ デモスポ「ウォーキング大会」

いちご一会とちぎ国体デモンストレーションスポーツ「那須烏山市ウォーキング大会」が5月7日(土)に烏山中央公園を発着点に開かれました。

幅広い世代の人にスポーツに親しんでもらおうと開かれた本大会には、市内外から223人が参加。7キロと11キロに分けられたコースでは、どうくつ酒蔵や龍門の滝など設けられたチェックポイントを巡りながらゴールを目指しました。参加者全員がおそろいのバンダナを身に付け、自分のペースでウォーキングを楽しんでいました。



◀ 美しい花木が並んだ展示会の様子

野上趣味の会 龍門の滝で花木の展示会開催

龍門の滝の環境保全に取り組む野上趣味の会(岡崎一良会長)が5月3日(火・祝)～5日(木・祝)、龍門の滝(滝公園)で「第7回花木展示会」を開きました。会場には200点を超える美しい花木が並び、龍門の滝を訪れる多くの観光客を魅了しました。

同会の山本義久さん(野上)は、「たくさんの人に喜んでもらえた。来年は、多くの市民の皆さんに花木を持ち寄っていただき、観光客に那須烏山市の美しい自然を楽しんでもらいたい」と今後の開催に向けて意欲を語りました。



◀ お弁当を食べる参加者

アキュムに乗って出発！ 親子でピクニック楽しむ

5月22日(日)、なすから子結び団(平野達朗代表)が「アキュムに乗ってピクニックに出かけよう」を開き、市内在住の親子37人が参加しました。

JR烏山駅からアキュムに乗車した参加者は、小埴駅で下車後約2キロの道のりを歩き、森田の芳朝寺に到着。座禅を体験したほか、持ち寄ったお弁当を家族ごとに食べました。

板橋星奈さん(初音)は、「友達と電車に乗ったり手をつないで歩いたりできて楽しかった。お母さんと食べたお弁当もおいしかった」と話しました。

まちかど*リポート



生徒の練習を見守る

プロフィール

- 市在住歴：約25年
- 出身地：本市
- 趣味：ゴルフ

最後まで生徒を信じぬくこと—

高校教師 平野 聖さん



烏山高校柔道部の皆さんと（前列左が平野さん）

平野さんは、県立烏山高校の教師として理科(物理)を教えています。もともと人に教えることや子どもが好きだった平野さんは、幼い頃から柔道をやっていたこともあり、子どもに学業と部活の両方を教えたいと教師の道に進みました。その根底には、「子どものときにたくさんの人にお世話になった分、今度は自分が子どもたちに還元したい」という思いがあったそうです。

6年前に烏山高校に赴任した平野さんは、当時の生徒から「柔道がやりたいです」という言葉を受け、柔道同好会を設立。その後柔道部となり4年が経った今年、見事、関東大会への切符をつかみました。烏山高校では実に45年ぶりの快挙。設立当初は苦労も多かった分、その喜びはひとしおだったそうです。平野さんは、「教師は生徒と一緒に成長するもの。生徒と1つになれたときには充実感があるし、とても感動する。生徒を最後まで信じてあげることが大切」と話します。

練習に励む生徒を見つめ「一生懸命取り組んでいる姿が好きなんです」と平野さん。“どんなことも絶対にあきらめない”をモットーに、今日も生徒と向き合っています。



以前は、烏山駅構内にキヨスクがありました。

あなたのエピソードをお待ちしています。市ホームページのメールフォームからも応募できます。

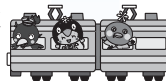


■問合せ まちづくり課地域づくりグループ
☎0287-83-1151



「MOA光輪花クラブ(荒井初江代表)」によるJR烏山線開通80周年を祝う生け花。当ボランティアグループは20年間烏山駅に月2回程度花を飾ってきました。(現在は活動終了)背景には当時のキハ40系が写りこんでいます。

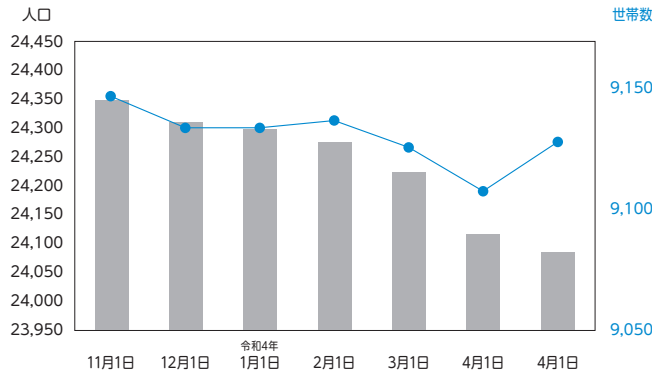
JR烏山線全線開業100周年事業
「からせん」の思い出
JR烏山線が令和5年4月に全線開業100周年を迎えることを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。
荒井初江さん(滝田)からのエピソード





市の人口

令和5年4月1日現在



人口 24,083(-33)

男	11,987	女	12,096
出生	7	死亡	31
転入	59	転出	68

世帯数 9,128

※()対前月比
※令和2年国勢調査を基に集計した統計人口です。



平野宏巳本部長から表彰状を受け取る受賞者

市スポーツ少年団表彰

5月11日(水)、「市スポーツ少年団表彰式」が市役所南那須庁舎大会議室で行われ、25人・1団体が表彰されました。これは、団活動で意欲的に努力し模範となる団員や、県予選で入賞または県予選を勝ち抜き関東・全国大会へ出場した人などを表彰するもの。当日は、市スポーツ少年団の平野宏巳本部長から受賞者に表彰状が手渡されました。受賞者は次のとおりです。

【功労者表彰】前沢武男(鳥山 LITTLE DIPPERS)

【模範団員】小林令空(宏倫剣道)、河和汰来(同)、土居明夫(同)、川上翠音(同)、笹沼成美(同)、堀江琉生(YUZUHA FC ジュニア)、渥美唯翔(同)、知久奏太(同)、土居明夫(同)、二藤部権理(鳥山剣道)、笠井雄斗(同)、田代颯空(七合スピリッツ)、塩野目晟煌(那須鳥山クラブ)、前沢梨花(鳥山 LITTLE DIPPERS)、零春進(FC バジエルボ那須鳥山)、零晴斗(同)、鈴木悠真(同)、満田航輔(同)

【優秀競技者団員】古内香名(白聖会空手道)、荒井萌維(同)、荒井亜美(同)、大輪莉央奈(同)、小池望夢(南那須空手道)、小池萌楓(同)

【育成母集団】F Cバジエルボ那須鳥山(代表 平野宏巳)



おめでとう

赤ちゃん名 (保護者住所)

齋藤心桜(幸成・梨紗) 神長
森島亮潤(大智・彩香) 城東
佐藤宏樹(隼・美幸) 小堀
小室充稀(駿・可奈子) 南十百
カーンシャゼン(アリズルフィカール・アマヌラハミダ) 城東
大金由弥(崇裕・紀絵) 森田

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。



「ご寄附」ありがとうございます

ふるさと応援寄附金

匿名希望者様19人から合計35万円が本市に寄附されました。



スポーツの結果

●第16回市民野球大会(4月17日(日)、24日(日)鳥山野球場)

▽優勝…鳥山ヤングス▽準優勝…藤田クラブ▽第3位…熱球会、侍

●第33回一般男子ソフトボール大会(4月13日(水)、20日(水)、21日(木)、22日(金)鳥山運動公園)

▽優勝…やまびこクラブ▽準優勝…あたごヤングマン▽第3位…日野町クラブ、野上ソフトボールクラブ

●第41回栃木県壮年ソフトボール大会南那須支部予選会(4月19日(火)、20日(水)緑地運動公園)

▽優勝…藤田▽準優勝…荒川南▽第3位…三箇、志鳥・川井



編集後記

雨の日が多くなってきましたね。気象庁によると、関東甲信地方は、6月6日に梅雨入りしたとのこと。ついにジメジメシーズン到来かと思うと少し憂鬱ですが、ホテルやアジサイなどこの時期だからこそ楽しめる「風物詩」を満喫したいですね😊

これから迎える夏本番に向け、日焼け対策に気合いが入る私。昨年は、自分も周りの人もビックリするほどこんがりといい色に焼けてしまい、その日焼け跡が治りきらないまま今年の夏を迎えてしまいました(泣) 昨年のこんがり具合を更新しないように、今年こそは日焼け対策を万全にしてイベントやお祭りなど野外での取材に臨みたいと思います！



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0804
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『おしゃべりな部屋』 川村 元気
- ◇『脱北航路』 月村 了衛
- ◇『マスカレード・ゲーム』 東野 圭吾
- ◇『シャギー・ベイン』
ダグラス スチュアート
- ◇『すべての月、すべての年』
ルシア ベルリン
- ◇『60代から輝く!』 藤原 民子
- ◇『花を育ててみたいのですが。』
花福 こざる
- ◇『保護猫の育て方』 ハンナ ショー
- ◇『石原洋子の梅干し梅酒梅料理』
石原 洋子
- ◇『はじめての自然養蜂』 岩波 金太郎

◆児童図書◆

- ◇『スサノオとオオナムチ』 飯野 和好
- ◇『ありんこトロッコ』 おおい じゅんこ
- ◇『おいなさん』 もとした いづみ
- ◇『ライラックどおりのおひるごはん』
フェリシタ サラ
- ◇『おとうとがおおきくなったら』
ソフィー ラグーナ
- ◇『いのちの水』 八百板 洋子
- ◇『こども倫理学』 佐藤 岳詩
- ◇『びっくり!微生物のひみつ』
フィリップ バンティング
- ◇『コンビニてんちょうネコイチさん』
ヤスダ ユミコ
- ◇『きょうりゅうバスでとしょかんへ』
リウ スーユエン



文芸コーナー

俳句

独り酒つんと山葵に涙する

水野 信一 選

わけもなく心急ぐ日や桜舞ふ

小針 久子(月次)

種を蒔くカラスの視線背に受けて

川俣登志子(旭)

コロナ禍に変はる世の中サツキ咲く

板橋 陽子(岩子)

熊田 一男(初音)

川柳

院食で好物南瓜大当り

篠崎 酔月 選

焼きたての石やき芋に舌つづみ

杉山幸栄子(ハケ代)

母さんの味はやつぱりおみそ汁

関 元氣(小塙)

良く当たる予報素直に傘を持ち

萩原 宣子(中央)

小川 昌子(向田)

短歌

幼き日の防空壕がよみがえるウクライナ侵略の映像を見て

滝口 節子 選

新緑の偕楽園に目を見張る「好文亭」の眺めは絶景

蓮田 和子(金井)

里山の萌ゆる若葉を届けたし都会に暮らすマスカ

須田 孝子(城東)

の我が娘に

古内 晴代(金井)

青鷺は餌を求めて奪いあう水鳥たちは恋を求めて

清水 利夫(志鳥)

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ(〒321-0692) 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

広告掲載募集中

市では、「広報お知らせ版」・「広報なすからすやま」・「市ホームページ」の有料広告を募集しています。掲載基準などの詳細は、市ホームページで確認するか、下記あてお問い合わせください。

■総合政策課広報広聴グループ
☎0287-83-1112



安心と安全をサポート!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・火災・企業賠償(サイバー) 他
 ◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン保険 他
 ◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383
 TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

みんなの 自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの
写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽
にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏
名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真
について一言(50字程度)記載してください。

■問合 総合政策課広報聴グループ

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「烏山大橋の水鏡」

大金俊夫さん

なかなか見られないものが撮れた。
天気が長続きしないなか、運よく
散歩中に、持っていたスマホでの
1枚。



「僕たち小さな清掃員」

荒井さん

車道と歩道を区分けする白線が泥
で隠れていたため、安全に散歩が
できるように掃除をしました。



「自分へのご褒美」

まる子さん

疲れた私に家族が、大好きな、あき
もとさんのケーキをたくさん買っ
てきてくれました。
どれも美味しそう。

元田町若衆一丸となって… 山あげ祭開催に向け準備着々と

山あげ祭の開催に向け、今年の当番町「元田
町」の若衆が準備を進めています。

山あげ烏 章館で行われている準備には、若
衆25人ほどが参加。2月上旬からハリカ山の
製作を開始し、現在は、山の支えとなる竹を取
り付ける作業や舞台装置のひとつである「波」
の製作などに感染症対策を徹底しながら取り組
んでいます。また、4月上旬からは、元田町で
画家の中村勝之さんによって、和紙を貼り終え
た山に絵を描き入れる作業が行われています。

木頭の越雲聖太さんは、「多くの若衆が準備
に参加してくれているため、順調に進んでい
る。コロナ禍で不安な部分もあったが、開催に
向けて準備を進められていることをうれしく思
う。盛大な祭を、ぜひ、見てほしい」と話しま
した。また、筆頭世話人の檜山敏大さんは、「で
きる限り、コロナ禍前に近い形の祭にしたいと
思っている。最大限の開催ができるように、万
全の準備を行いたい」と意気込みを語りました。



▲作業に取り組む元田町の若衆

中古パソコン販売
パソコン修理
Wi-Fi 診断
web 制作
ソフト開発

電話一本
出張します

個人指導
パソコン教室 ¥2,750

営業時間: 9:00 ~ 19:00 定休日: 水
時間: 10:00 ~ 17:00

☎0287-82-7345

株式会社
パソコンお助け烏山

栃木県那須烏山市金井 2-5-9
ベンチャープラザ那須烏山

有料広告